

各 位

令和 4 年 1 月 13 日
学校法人 柴田学園

令和 4 年度より学校法人柴田学園の高大一貫教育を開始
～柴田学園高等学校の柴田学園大学附属化～

柴田学園は 1923（大正 12）年、柴田やす によって創立された弘前和洋裁縫学校（翌年弘前和洋裁縫女学校に改称）から始まりました。以後、建学の精神「教育即生活、生活即教育」という理念のもと、長きにわたり地域活性に貢献すべく人材の輩出に努力してまいりました。



【写真：昭和 3 年当時の弘前和洋裁縫女学校】

- 1948（昭和 23）年 柴田女子高等学校 開校
- 1949（昭和 24）年 東北栄養専門学校 開校
- 1950（昭和 25）年 東北女子短期大学 開学
- 1954（昭和 29）年 柴田幼稚園 開園
- 1969（昭和 44）年 東北女子大学 開学
- 2019（平成 31）年 柴田学園高等学校に校名変更
- 2021（令和 3）年 柴田学園大学に校名変更
柴田学園大学短期大学部に
校名変更

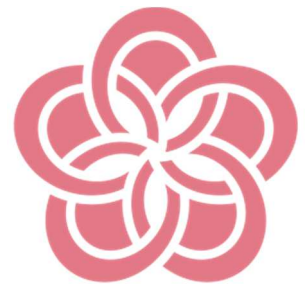
令和の時代となり少子高齢化、情報化、グローバル化等による社会環境の変化により、グローバル時代の教育改革が求められており、本学園においてもこれからの時代を生き抜く人材を育成するため、2019（平成 31）年より大きな改革を開始しました。

建学の精神「教育即生活」を「Education as Life」（人生としての教育）と再定義し、学園のシンボルマーク（右図）を設定しました。「生活創生」をキーワードとし、時代や地域とともに、生活を作り出す人材の育成、教育環境づくりを目指し改革を進めてまいりました。

さらには、高校入学から大学（短大）卒業までの一貫した教育環境づくりを目標に、2019（平成 31）年に、柴田女子高等学校を共学化し、柴田学園高等学校と校名を変更。2021（令和 3 年）には東北女子大学、同短期大学を共学化し、柴田学園大学、同短期大学部と校名を変更して、全系列校を共学化しました。

そして 2022（令和 4）年からは高大一貫教育をスタートします。

本学園は、2023（令和 5）年に創立 100 周年を迎えますが、常に時代に即した人材育成をすべく今後とも邁進してまいります。



SHIBATA
EDUCATION as LIFE

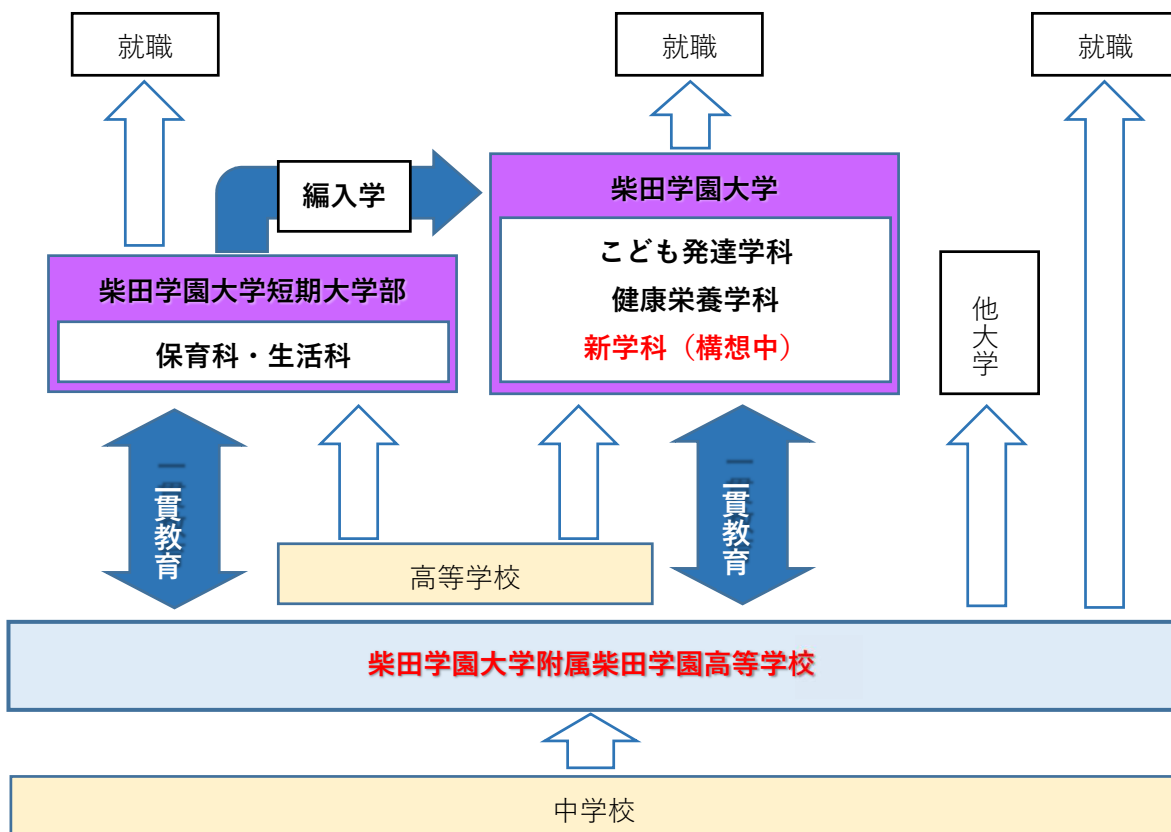
【柴田学園シンボルマーク】

各学校のシンボルマークである「梅」をモチーフとし、各学校が連携し一つにつながった教育環境を提供する法人であることを表します。

また、各学校での学びが生活の中で連環し 1 つの花を作るさまを表現しています。

【学校法人柴田学園 5・7年の高大一貫教育のビジョン】

時代とともに、地域とともに生活を作り出す
「生活創生」
 これからの時代を担う人材育成 女子教育から人間教育へ



学生の一人ひとりが、自分の可能性を大切に磨き上げ、社会で貢献できるようにすることが、当学園の使命でありダイバーシティ時代の教育の基本です。

本学園では高校で学んだ後「さらに学びを深めたい」、「専門分野を究めたい」という気持ちに応えるために、高校生にも大学の講義を受講する機会を設け、部活動を通じて高校生と大学生の交流を図るなど、本学園のスケールメリットを最大限活かしながら、高大一貫教育を実現します。

これからは、時代の変化に合わせて対応していく力、自ら新たなものを創造する力がますます必要になってきます。本学園では次の時代を見据え、新たな挑戦に挑み、地域の改題を解決し地域社会に貢献できる人材を輩出するために、以下の事項に取り組みます。



【高大一貫教育 5 アクションプラン】

1. 柴田学園高等学校の大学附属化について

令和4年度より柴田学園高等学校を柴田学園大学の附属高校とし、「柴田学園大学附属柴田学園高等学校」と校名変更いたします。

2. 高大接続科目の設定

柴田学園大学・同短期大学部への進学を希望する柴田学園高等学校の生徒が、高大接続科目等履修生制度を活用して、高校在学時に大学・短期大学部が開講する科目を履修できるようにします。志望する学部・学科の内容を理解することで、進路について学び、高校生活の充実や学習意欲の一層の向上に寄与することを目的に高大接続科目を設定します。

2-1. 高大接続科目

高校から大学・短大への進学を円滑に進める方策の一つとして、令和4年度より「早期動機付けから深い学び」の実現を図ることを目的とし、高校3年生を主対象に、以下の教養科目および専門科目を高大接続科目として設定します。

高大接続科目（令和4年度開講予定）

区分	学科別	開講科目	授業形態	単位数
教養科目	全学共通	学園と地域を知る【新設科目】	講義	2
	全学共通	心理学	講義	2
	全学共通	倫理学	講義	2
	全学共通	地域活性化論 B【新設科目】	講義	2
専門科目	健康栄養学科	おいしさの科学	講義	2
	健康栄養学科	トレーニング科学	講義	2
	こども発達学科	家政学原論	講義	2
	こども発達学科	子どもの人間関係	演習	1

2-2. 高大接続科目の単位化

高校在籍時に取得した、高大接続科目の単位を本学園の大学・短期大学部に入学した場合に、修得単位として申請できるようにします。大学では8単位、短期大学部では6単位を上限とします。

3. 優遇制度・特典について

一貫教育を希望する生徒を経済面から支援するために、柴田学園高等学校から柴田学園大学・同短期大学部に入学する全ての生徒に対し、令和4年度は以下の特待制度を適用します。

3-1. 入学受験料の免除

区 分		学納金	系列校からの 入学生	免除額	
入 学 検定料	大学	30,000 円	0 円	全額免除	30,000 円
	短期大学部	20,000 円	0 円	全額免除	20,000 円

3-2. 初年度納入金の一部免除

区 分		学納金	系列校からの 入学生	免除額	
入学金	大学	200,000 円	0 円	全額免除	200,000 円
	短期大学部	200,000 円	0 円	全額免除	200,000 円
授業料	大学	700,000 円	466,600 円	1/3 免除	233,400 円
	短期大学部	550,000 円	366,600 円	1/3 免除	183,400 円
教 育 充実費	大学	300,000 円	300,000 円		
	短期大学部	250,000 円	250,000 円		
施 設 整備費	大学	0 円	0 円		
	短期大学部	100,000 円	100,000 円		
合 計 (年額)	大学	1,200,000 円	766,600 円		433,400 円
	短期大学部	1,100,000 円	716,600 円		383,400 円

4. 部活動の強化について

柴田学園高等学校の強化部であるバスケットボール部について、大学においても活発に活動できるよう、令和4年度から学園大学に男子バスケットボール部を設置します。

他の部活動においても今後随時検討していく予定です。

5. 附属高等学校から大学・短期大学部の入学者特別枠について

附属高等学校から上位校へシームレスに進学していけるよう、入学者特別枠を令和5年度に向けて検討中です。

以 上